

明治大学、2年連続3回目の優勝！



©JUFA

Match Review Result & Report

Reported by 大館司 (読売新聞社運動部)

2019年9月7日(土) 18:01キックオフ
会場/ヤンマースタジアム長居 天候/晴 入場者数/3841人

明治大学	2	1-1 1-0	1	法政大学
27分 11 佐藤 亮(2 中村 帆高)		得点	23分 6 大西 遼太郎(7 末木 裕也)	
69分 22 小野 寺 健也(7 中村 健人)		(アシスト)		



明治大学が2年連続3度目の優勝を果たした。2年ぶりの頂点を目指した法政大学の背後を狙うパスワークに対し、体を張った守備で圧力をかけながら攻勢につなげ、引き寄せた好機を確実に決める試合巧者ぶり。2得点を奪い、逆転勝ちを飾った。

明治大学は、試合開始から全力でプレスをかけて主導権を握るつもりだった。ところが、大舞台で硬さが出て、やや空回りしてしまう。法政大学のFW9、松澤彰(4年)の動きに過剰に反応したり、トップ下のMF13、長谷川元希(3年)への対応が遅れたりするなどごちなさが目立ち、守勢に回った。23分にはMF7、末木裕也(4年)のCKをMF6、大西遼太郎(4年)に頭で合わされてしまい、先制点を許した。

だが、5年連続で決勝に進んだ明治大学は浮足立たなかった。直後に相手の守備ライン手前の空いたスペースを起点に攻撃を組み立て、右サイドをMF2、中村帆高(4年)がドリブルで駆け上がり、低く速いクロスを入れた。ゴール前中央に詰めた主将のFW11、佐藤亮(4年)がゴール隅に流し込んで27分に追いついた。落ち着きを取り戻した守備陣はドリブルで中盤を突破した相手をゴール手前で防ぐなど徐々に試合の流れを引き寄せて前半を終えた。

後半に入り、明治大学はゴール手前のスペースを狙いながら、相手を圧倒していく。69分にMF7、中村健人(4年)のCKをDF22、小野寺健也(4年)が頭でねじ込み、ついに勝ち越した。観客席で喜び合う仲間同様に小野寺が「みんなの笑顔が見られてうれしい」と喜んだ値千金のゴールで大勢が決した。試合終了間際の相手の猛攻もGK21、加藤大智(4年)の好セーブなどでしのぎきった。

法政大学は、相手の疲れが見え始めた60分にMF8、紺野和也(4年)を投入。豊富な運動量と視野の広さで好機を演出させるまでは、もくろみ通りだったが、ゴールが遠かった。シュート6本ずつと実力伯仲の対決は決定力の差が明暗を分ける形となった。

